

(公財) 諏訪郷友会 2020 年度事業計画

諏訪郷友会は、2018,19 年度と 2 年続きの長善館寮生の大幅定員割れと、令和に入ってからからの寄附金収入の落ち込みが主要因となり財政的苦境にある。

このため新年度は、**館生の確保・維持と寄附金協力者の増加活動**を最重点目標として運営する。

昨年度から始めた長野県全域での募集キャンペーンは、成果が出始めており今年度以降も活動を継続する。寄附金は「郷友会設立 135 周年記念募金委員会(仮称)」を立ち上げ、毎年度 400 万円超を目標に活動を始める。

主活動の学生寮長善館は、伝統の行事見直し・改善、館生委員会活動強化などにより更なる快適で健康的な生活環境づくりを目指す。

計画実現達成のため、具体的施策を作成し、実行、評価、改善する活動を役員は確実に実践する。

<公益目的事業>

- 1 学生寮長善館の運営
 - 館生 40 人体制のスタート、維持
 - 記念祭内容の見直し、改善
 - 更なる快適で健康的な生活環境づくり
- 2 研修交流活動の開催
 - 夏季郷里大会 (8 月 23 日 (日))
 - 秋季大会、記念祭 (10 月 18 日 (日))
 - オープンセミナー (2 回+夏季大会時の計 3 回)
- 3 会報の発行
 - 「諏訪郷友会ニュース」夏号・冬号の刊行

<収益事業>

- 1 長善館駐車場の運営
 - 現在の高利用率を維持
 - 長期未収金の年度内での完全解決
- 2 太陽光発電の売電
 - 発電装置の保全につとめ、売電収益を確保

<法人運営>

- 公益財団法人に関する諸規定の厳正な運用に努める。
 - 特に、役員としての認識を再確認し、担務の積極的、確実な実行をする。
- 6 月の理事・監事改選をスムーズに実行し、新体制での事業計画再確認と活動を確実に開始する。